

■井上日召 国家主義者。満州・中国から帰国して修行後、門下を集めて<血盟団事件>を起こし、空前の衝動に。

いのうえにっしょう

帝国大学始・1886＝ 群馬県に生まれる。

帝国憲法発布1889＝ 3歳：

日清戦争始・1894＝ 8歳：

日清戦争終・1895＝ 9歳：

日露戦争始・1904＝18歳：

日露戦争終・1905＝19歳：

前橋中学卒(同級生に高島素之がいた)、
早稲田大学文科、

東洋協会専門学校ともに中退。

韓国併合・・・1910＝24歳： 満洲に渡って、満鉄社員となり、
ついで陸軍参謀本部の囑託となり諜報活動に従事。

明治天皇没・1912＝26歳：

大正政変・・・1913＝27歳：

この時期に本間憲一郎・前田虎雄・木島完之を識った。

民本主義・・・1916＝30歳： 帰国するが、同年中国に第三革命が起るや山東省に赴き居正の顧問となる。

原敬首相暗殺1921＝35歳：

水平社結成・1922＝36歳：

帰国し、
郷里川湯村の三徳庵という破れ堂で断食して日蓮宗の修行をした。

護憲三派圧勝1924＝38歳： *修行終る。このとき日召と改名。

治安維持法・1925＝39歳：

護国聖社を結成。

円本時代始・1926＝40歳：

建国会の創立に参加。しかし右翼運動の第一線には出ず、
宇宙・国家・人生の問題解決のため身延山、静岡県三島の寺(このときの師が山本玄峰)で修行。

共産党事件・1928＝42歳：

茨城県の那珂川河口の岩舟山に籠り、

世界恐慌・・・1929＝43歳：

同県大洗の東光台にある立正護国堂に入る。のちに血盟団事件を起す農村の青年を門下とする。同時に海軍の藤井齊大尉以下の5・15事件を起す将校と相識り修行。

海軍軍縮条約1930＝44歳：

東京に出て七生社の東大学生を門下とする。西田税にも接近し十月事件に参加。

満州事変・・・1931＝45歳：

五一五事件・1932＝46歳：

*血盟団を組織し、門下の小沼正・菱沼五郎らを指揮して、井上準之助、さらに団琢磨を暗殺<血盟団事件>
。井上が指導したこの事件は、暗殺の対象人物、組織なき組織による単独犯の結び合わせる事件として当時の社会状況と相まって空前の衝動を世に与え、無期懲役に処せられ、

日中戦争始・1937＝51歳：

大政翼賛会・1940＝54歳： 仮出所、

日米開戦・・・1941＝55歳： *三上卓・四元義隆らと{ひもろぎ塾}を設立、

一時期近衛文麿の相談役をした。

敗戦・・・1945＝59歳： <敗戦>後、

農村青年に講演をして廻り、

三大事件・・・1949＝63歳：

独立回復・・・1951＝65歳：

TV放送始・・・1953＝67歳： 「日召自伝」(のちに改訂して「一人一殺」)。

自衛隊発足・1954＝68歳： 「護国教団」を設立。

インスタントラーメン・1958＝72歳：

安保闘争・・・1960＝74歳：

美濃部都知事1967＝81歳： 没した。

特異な思想から、現代に続く右翼運動の核心にも関わるとされている。